



晴天のもと 歓声響く

10/18 5地域で市民運動会

晴天に恵まれた10月18日、市内5地域で市民運動会が開かれました。

このうち三郷地域の運動会には、地区公民館やスポーツ団体などから1,500人ほどが参加。小道具を使ったりレーや綱引きなど、全10種目で汗を流しました。毎年恒例の「パン食い競争」では、用意した150個のパンがすべて無くなるほどの盛況ぶり。子どもも大人もパンを上手にくわえようと、口を大きくあけて挑戦していました。



ふれあいが 少年の力に

10/17 有明高原寮施設見学会

有明宮城地区にある男子少年院・有明高原寮は10月17日、より多くの人に施設のことを知ってもらおうと、見学会を開催しました。有明高原寮は、早春賦音楽祭、交歓ソフトボール大会など、地域との交流が大変盛んな施設です。今回は51人が参加。寮内の見学や少年たちの生活ぶりなどが紹介されました。見学会に初めて参加した浜田卓二さん(25・穂高有明)は、「居場所のなかった少年たちが、居場所があることで立ち直ろうとしている。地域とのつながりが力になっているという話には、心がひかれました」と話してくれました。

咲かせよう！安曇野の恵み

10/17 安曇野フェスタ

第4回安曇野フェスタ(同実行委員会主催)が10月17日、国営アルプスあづみの公園で開かれました。県内外から集まった約1万5,400人の来場者が、食、文化、人など、豊かな安曇野の恵みに触れました。

オープニングセレモニーでは、10月22日をもって退任する平林市長に、地元中学生の3人が花束を贈呈する場面があり、平林市長は晴れやかな表情で受け取っていました。

メイン会場では、安曇野産にこだわった「安曇野弁当」の販売、安曇野の新作料理の試食会、安曇野ブランドデザイン会議各プロジェクトの活動報告、abn長野朝日放送の生放送などが行われました。

また、この日は、穂高西中学校吹奏楽部の皆さんがボランティアスタッフとして参加。ゴミ袋とパンフレットの配布、車いす利用者の介助などを行いました。2年の女子生徒の一人は「『こんにちは』が返ってくるのがうれしい」と笑顔で話してくれました。



だまされない とられない

10/31 安曇野警察署ふれあいコンサート

安曇野警察署ふれあいコンサート(同署主催)が10月31日、安曇野スイス村サンモリッツで開かれました。本年度3回目となるこのイベントは、日ごろ地域住民が接することの少ない警察の仕事や防犯対策を広く紹介するために実施。主会場となったホールには約300人が訪れました。

寸劇では、防犯ボランティア劇団「あやめ」が、振り込め詐欺の被害事例を演じました。代表の三好さき子さん(明科中川手)は、「自分は大丈夫と思っても弱みにつけ込んでくる。家族などに確認してほしい」と注意を呼び掛けました。

また、「防犯戦隊とらレンジャー」では、警察官が子ども向けのヒーローにふんして出演。喜劇的な場面を交えながら、自転車の盗難対策を紹介しました。とらレンジャーは、「ビラを配るより効果的では」と安曇野警察署の署員のアイデアにより結成。今後も、駅や学校で盗難防止を呼び掛ける予定です。



囃子の音色に 地域の個性

10/11 安曇野祭り囃子演奏会

第3回安曇野祭り囃子演奏会(同実行委員会主催)が10月11日、国営アルプスあづみの公園で開かれました。演奏会には、市内5地域から8つの保存会が参加。各地域に伝わる伝統の音色を響かせました。この内、重柳祭り保存会は、毎年9月に重柳八幡宮祭典で行うお囃子を披露。会長の白坂孝さん(60・豊科南穂高)は、「各地のお囃子は、いつまでも守ってもらいたい安曇野の伝承文化。一堂に会することで、多くの人にPRできたのでは」と振り返っていました。



伝統のレース ささまざまな表情

10/10 安曇野観光草競馬大会

恒例の安曇野観光草競馬大会(安曇野競馬愛好会主催)が10月10日、市営牧運動場で開かれました。この日は、42頭の馬が出走。直線でせめぎ合う迫力ある場面、ポニーが逆走して笑いを誘う場面など、レースはさまざまな表情を見せていました。また、全11レース行われた決勝では、ポニー、農耕馬、競走馬など5区分に分かれ、400mのトラックを最大8周して競い合いました。2,500人の観客は、弁当を持参して観戦するなど、秋の1日をそれぞれに楽しんでいる様子でした。